NVAニュース

№３４６　　2018.1.1 発行
一般財団法人長野県バレーボール協会
発行責任者　竹淵　光雄
長野県上伊那郡辰野町中央 606-1
Tel: 0266-75-2101　Fax:0266-75-2102

新 年 にあたって

会 長　船 木　正 也

2018 年の年が明けました。

昨年は「長野県バレーボール協会」創立70周年という節目の年でありましたが、記念式典を通じて、改めて長野県のバレーボール界を、情熱と組織力で発展に結び付けて来られた先達の努力に敬意を表すとともに、現在の協会関係者すべてが力を合わせて、この伝統ある協会を次なる時代に向けて更に前進させていかなければならないと実感しました。

既に新しい歩みは始まっています。

VC長野トライデンツ、長野☆GaRons の2チームがVチャレンジリーグに参戦中で、V プレミアリーグを目指して奮闘しています。それに加え、ルートイングループ・女子バレーボール部が同じく頂点のリーグを目指して活動を始めました。

また、小・中・高・大学・実業団・クラブ・ママさんなど、誰にでも開かれたスポーツであるバレーボールですが、インドア6人制・9人制、ビーチ、ソフトを含めて、それぞれ長野県に於いてもっと充実し、注目される存在となるように、日々前向きに活動しています。

私たち、一般財団法人長野県バレーボール協会は、バレーボールという素晴らしいチームスポーツを県内で益々盛んにし、長野県から夢に向かって挑戦する選手たちをしっかり応援していくと同時に、2027年に予定されている「ながの国体」に向けた選手育成・強化も図らなければならないと思います。

「2020年東京」を大きな道標とし、日本中のスポーツ競技が今まで以上に精力的に普及・強化に取り組んでいく中で、長く日本のスポーツ文化に馴染んだバレーボールは、「若者の健全な人間形成」「健康長寿に貢献する生涯スポーツ」「地域コミュニティーの活性化」といった、社会的貢献にも大きく期待されていると思っています。

これらの幾つものテーマを解決していくためには、年間を通して数多くの大会運営にご尽力されている協会関係者や、大会ごとにご協力を頂いているボランティアの皆さんを含め、多くの皆様のお力添えがなければ、決して前に進むことはできません。

この場をお借りして、皆々様の益々のご協力をお願い申し上げますと同時に、県内のバレーボールが更に活発になる事、様々な競技会に出場される全てのチームの皆さんが大活躍される事を心よりお祈りして、年頭の挨拶とさせていただきます。

以上

2017/18V･チャレンジリーグⅠ男子高森大会

VC長野トライデンツ　1敗するも2位を死守

【高森大会競技副委員長　関島宏至】

12月2日（土）･3（日）の2日間、V･チャレンジリーグⅠ男子2017／18レギュラーラウンド～ＶＣ長野トライデンツ（以下「ＶＣ長野」）のホームゲームが高森町民体育館で開催され、2日間で1,000人以上の観客が来場されました。

尚、その前日の夕刻、ＶＣ長野の選手たちによるバレーボール教室が開催され、大会補助員の高森中学校・豊丘中学校の女子バレー部員が指導を受けました。

ここまで全勝のＶＣ長野は2回目のホームゲーム。初日の2日（土）は、第1レグ最終戦で、2位の富士通カワサキレッドスピリッツ（以下「富士通」）との首位攻防戦となりました。

第1セット、富士通は中川の強烈なサーブから攻勢に立ったのに対し、ＶＣ長野も峯村のスパイク等で応戦。接戦に持ち込んで中盤以降は譲らず、栗木のスパイクも決まり同点のまま終盤に突入しました。お互いに2回のセットポイントを凌いだ後、ＶＣ長野が漸く5回目のセットポイントを31－29でものにしました。

しかし第2セット以降は、富士通の新が巧みなトスで的を絞らせず、中川・岡村・岩井のスパイクで得点を重ねてリードする展開になり、一方のＶＣ長野はサーブミス等でリズムを掴めず、3セットを連取されて勝利を逃しました。

この結果、ＶＣ長野は富士通と同じ6勝1敗となり、ポイント差で第1レグを2位で折り返しました。

2日目の3日（日）は、第1レグ5位の警視庁フォートファイターズ（以下「警視庁」）との対戦でした。

出だしに硬さがみられたＶＣ長野は、警視庁の安定したサーブレシーブから速攻を多用され、第1セットを先取されました。第2・第3セットは落ち着きを取り戻したＶＣ長野が危なげなく取りましたが、第4セットは、ショートサーブやフェイントで揺さぶる警視庁の攻めに対応できず、守備が乱れて立て直せずタイに持ち込まれました。そして最終セット、会場の熱い声援に後押しされたＶＣ長野が森崎のスパイクと連続サービスエースでペースを掴むと、警視庁に連続ブロック等で粘られたものの、最後は田中のクイックで勝利を掴み取りました。

これでＶＣ長野は7勝1敗　勝ち点19で2位を死守しました。

尚、この大会には、下伊那のジュニアバレーチームに所属する皆さんがエスコートキッズとして協力して下さったほか、試合間・セット間には飯田女子高校チアリーディング部「ブレイブクーガーズ」の皆さんが応援・声援に花を添えて盛り上げてくれました。

最後になりましたが、本大会開催にご尽力・ご協力頂いた皆様方に心より感謝を申し上げます。

長野GaRons ホームゲームで連敗スタート

【須高協会理事長　吉澤康幸】

バレーボールＶ・チャレンジリーグⅡ男子、長野 GaRons のホームゲームが 11 月 25 日（土）～26 日（日）の２日間、東京ヴェルディ・千葉ゼルバ・ヴォレアス北海道を迎えて須坂市市民体育館にて開催されました。

１日目は、今季初参戦のヴォレアス北海道（以下「北海道」）と対戦。立ち上がりに硬さが見られたところに、いきなり北海道の強烈なサーブで１－５とされ、藤井のスパイクなどで 16－19 と中盤までに盛り返したものの、結局そのまま先取されました。第２、第３セットも北海道のペースで進み、互いに点を取り合う場面もありましたが、北海道の多彩な攻撃を絞り切れずに連取され、０－３の敗戦となってしまいました。

２日目は千葉ゼルバと対戦。第１セット中盤、14－14 からセンター：渡辺のスパイク、清水、藤井のブロックが決まり、流れをつかんで奪取しました。第２セットは、早々にいきなり清水のセンター攻撃がシャットされ、中盤 13－17 から終盤 19－21 まで追いすがったものの、21－25 で落としました。第３、第４セットもなかなか流れを掴むことができず、肝心なところでミスも出て連取されてしまい、長野ＧａＲｏｎｓは連敗スタートとなってしまいました。

次回は２月３日（土）～４日（日）、同じく須坂市市民体育館にてホームゲームが開催されます。今度は２連勝することを期待し、多くの方々に応援をしていただきますようお願い致します。

最後に、本大会にご協力下さった皆様に感謝申し上げます。

平成 29 年度 第 6 回 長野県 13 地区協会対抗6人制選手権大会(一般･高校の部)
兼 ミズノ杯 第 17 回6人制長野県クラブバレーボール選手権大会

女子は松本協会が４連覇 男子も長水協会が連覇

【大北協会理事長 芳澤光一】

標記大会が 12 月３日(日)、大町市運動公園総合体育館に於いて男子７地区８チーム・女子５地区５チームが参加して開催されました。地区協会の協力を得ながら、また、C 級審査会を行いながらの交流戦を含み、各チーム２試合以上をこなして大会は進みました。

女子決勝は、長野スピリッツ松本（松本協会）と飯山体協（中高飯水協会）の対戦になりました。両チーム終始エースの打ち合いの応酬でしたが、選手層の厚さと多彩な攻撃で長野スピリッツ松本が２－０で飯山体協を破りました。これで、松本協会が 4 年連続での優勝となりました。３位は大町クラブ（大北）と上伊那（上伊那）でした。

一方、男子の決勝は、南長野排球倶楽部（長水）と大町クラブ（大北）の対戦になりました、エースを中心に堅実なバレーを展開する南長野排球倶楽部と、持ち前の明るいチームカラーで戦う大町クラブの試合は、終始終盤まで競り合いましたが、最後までエースが踏ん張った南長野排球倶楽部が２－０で勝利。長水協会に連続での優勝をもたらしました。なお３位は、BLADE(佐久平）と上伊那（上伊那）でした。

来年度は是非全協会が参加できるように、各協会の応援をよろしくお願いいたします。

男子は初の予選落ち 女子も決勝トーナメント１回戦で敗退

【県協会強化委員 木下久資】

12 月 23 日（土)、梓川中学校で壮行会を開催して頂き、読売新聞社様や本協会の竹淵専務理事から激励の言葉を頂戴した後、女子はその日の内に兵庫県尼崎市園田学園女子大学に入ってミニ合宿を行い、男子も翌日に塩尻市立丘中学校で最終調整をした後、大阪市に入って大会に備えました。

25 日（月）は試合会場での練習と開会式のみで、26 日（火）に予選グループ戦が行われました。予選グループ戦は、３チームによるリーグ戦で、上位２チームが決勝トーナメント進出となります。

男子の予選グループ戦初戦は、地元の大阪南との対戦でした。１セット目、スパイクサーブで崩された上にＢクイックを中心とする相手の攻撃に対応出来ず、中盤で 11－18 と大量リードを許してしまいました。ここからＢクイックを止めたことをきっかけにリズムを掴み、22－23 と追いすがりましたが、それが精一杯でした。次のセットの序盤は、その流れで一時は８－５とリードしましたが、サーブレシ

ーブに安定を欠けば致命的です。中盤から終盤にかけて 12 連続失点。２セット目は 12 点しか取れずに敗れました。

お互い１敗同士で迎えた島根県とのサバイバルマッチは、夕方６時過ぎの開始となりました。後が無いというプレッシャーに加え、相手の島根も大阪南と同じくＢクイックを多用するチームで、１セット目は一方的な展開になってしまいました。殆ど良い所無く 11 点で取られ、２セット目も一時は７－６と逆転しましたが、サーブレシーブの不安定さは相変わらず。チャンスにコンビミスが出て流れを渡し、サーブやトスにもミスが重なって 19 点で終戦。長野県男子としては、初めての予選グループ戦敗退となってしまいました。

男子はここ数年、夏の全国大会に駒を進めるチームが無く、経験値がものを言うバレーボールという競技に於いて、その影響が選抜チームの大会に迄波及して、とうとう最後の砦を崩した感があります。

さて一方の女子ですが、予選グループ戦では鳥取県・沖縄県と対戦しました。鳥取戦は、初戦の硬さからかサーブレシーブが不安定で、１セット目は終盤に追い上げられたり、２セット目は序盤で逆転されたりとスッキリしない展開でしたが、19 点・14 点に抑えて勝利。２試合目の沖縄戦では、２セット目の終盤にややもたついたものの 17 点で振り切り、この組の１位となって決勝トーナメントに進出しました。

27 日（水）初戦の相手は、11 組を２位で通過した大阪南。１セット目は出足快調で、中盤迄は大量リードの長野ペース。ところが、裏エースとレシーバーがレシーブでぶつかったトラブル等でリズムが崩れると、22 点の所で同点に追い付かれてしまいました。その後はシーソーゲームとなったのですが、サーブレシーブが乱れて 25－27 で落としてしまいました。第２セットのスタートも同様の展開。21－10 から５連続失点もありましたが、何とか 17 点に抑えて 15 点マッチの最終セットに繋ぎました。しかし、今度はスタートダッシュが不発。強打はブロックでワンタッチを取られ、少し形が崩れた攻撃は悉く拾われて決め切れず、５－８でチェンジコート。逆に相手は、サーブレシーブやディフェス面でこちらの弱い所を攻めることを徹底。特に相手センター攻撃に対応出来ず、アッと言う間にマッチポイントを握られ、最後も相手のセンターからのスパイクがブロックから零れて、まさかの初戦敗退となってしまいました。

今年の大会は、男女共、自分達の持っている力が発揮出来ずに終わってしまいました。それだけに、口惜しさと寂しさが残ります。しかし、敗戦翌日の夕食会で選手達が口々に語ってくれていた「高校でも頑張る」。この言葉を、今は信じたいと思います。

最後になりましたが、御支援頂きました読売新聞社様、(一財)長野県バレーボール協会の皆様、そして県内各高校の皆様に御礼を申し上げます。

北信越バレーボール連盟 各県正副理事長(専務理事)会議開催される

【専務理事　竹淵光雄】

今年度は、石川県が当番県として12月2日(土)、かほく市浜北「やまじゅう」において各県正副理事長（専務理事）会議が開催されました。本県からは、竹淵専務理事と田原常務理事が出席しました。

会議の冒頭、北信越連盟の木本会長から挨拶に続いて、北信越連盟の規約改正案の提出について経過報告及び説明がありました。現段階では、規約改正は理事長会議で協議することとなっており、検討は理事長会議にゆだねられました。

続いて長谷川吉秋理事長から、今年度事業への各県の協力に対して感謝の言葉が述べられました。

会議内容は、平成30年度予算(案)、北信越連盟申し合わせ事項の確認、北信越連盟会議及び大会等開催順序の確認等で、これらの議題について慎重に審議されました。

この中で、平成30年度は本県にて天皇杯・皇后杯北信越ブロックラウンド、北信越クラブ９人制選手権大会、北信越高等学校選手権大会、北信越ソフトフェスティバル(ファミリー・キッズ・一般)、北信越ビーチ選手権大会等が開催されることが決定しており、各大会がスムーズに開催・終了出来ますよう更なるご支援・ご協力をお願い致します。

その他、今後のＶリーグ機構の大会開催については詳細が決定しておらず、決定した時点での協議とすることとなりました。30年１月８日(祝)開催のMRS説明会への報告依頼、先日行われたＪＶＡ代表委員総会の席上で約束のあったＪＶＡ役員と各ブロック等との懇談会について、２月10日(土)に金沢市で開催される北信越高校新人大会の折、嶋岡会長に出向いて頂き、意見交換、情報交換の会がもたれることが報告されました。ＪＶＡにご意見、質問等ある方は協会までメールを頂ければ会議の折、お聞きしたいと思いますのでご連絡ください。尚、北信越連盟規約の改正については、今後時間をかけて協議していくこととなりました。

更に会議終了後は、北信越連盟会長、地元石川県協会の木本利夫会長(北信越連盟会長)にも御参加頂き、情報交換会が行われました。役員の懇親と慰労を大いに深め、お開きとなりました。

理事長･競技力向上専門委員合同会議(国体種別)が開催される

【強化委員長　三溝裕五】

12 月 12 日(火)14 時 30 分から長野県スポーツ会館会議室に於いて、標記会議が開催され、当協会より竹淵専務理事と強化委員長の三溝が出席しました。

開会の挨拶の中で丸山専務理事より、本年度も『チーム長野』として各競技団体で努力していただいたが、目標であった天皇杯 13 位以内をクリアできず、天皇杯は 18 位、皇后杯は 19 位という結果であった。しかし、各競技団体には大変ご苦労頂いたと、お礼の言葉がありました。

続いて、古澤競技力向上委員長からは、銀嶺国体のお礼の言葉と今年度の成績結果報告があり、銀嶺国体では天皇杯 1 位、皇后杯 1 位、本国体では天皇杯 45 位、皇后杯 39 位であったと報告がありました。これからも県全体の競技力向上の後押しをお願いしたいとの挨拶がありました。

バレーボールは昨年同様、重点期待競技の指定を受け、更に少年男子は重点期待種別、成年男子は期待種別として、第 73 回国体の目標 22.5 点の達成ができるよう指定を受けました。目標達成には少年男子・成年男子に続き、少年女子の本国体の出場を期待します。

会議では、平成 30 年競技力向上対策基本方針、平成 30 年度重点強化校・特別強化事業が可決され、第 73 回国体獲得目標点数、天皇杯 1140 点、皇后杯 660 点として、天皇杯 38 位、皇后杯 26 位を目標に各競技団体での奮闘を依頼されました。

研究協議では、「第 72 回国体から分析した本県競技力の課題及び、2027 年国体に向けた競技力向上対策について」として、第 72 回国体の結果と第 82 回長野国体・天皇杯・皇后杯獲得に向けて、2 本のスライドで発表がありました。その後でグループ協議があり「組織の確立について」「選手の育成・強化について」「指導者育成・資質向上について」「環境の整備について」の 4 項目をテーマに情報交換をしました。

平成29年度中間収支会計監査終了

【県総務委員長　内山政則】

平成２９年度中間収支会計監査が、１１月２９日（水）午後３時から事務局にて実施されました。

竹淵専務の立ち合いのもと、内山総務委員長から４月～９月までの中間収支会計報告の概要説明の後、林・鈴木両監事に金銭出納帳・元帳・領収書綴り・各種大会決算書等の監査を受けました。

問題点につきましては、大会が黒字となった時の分配金（地元、県協会、チャレンジ所属チーム）領収書添付漏れの指摘を頂きました。

また、大会決算報告提出書類への押印については、13 地区協会の皆様のご努力と県協会事務局からの呼びかけによってサインが少なくなり、大分整って来てはおりますが、更なる徹底をお願いします。

さらに報告書・領収書について大会前、当日と科目（特に会議費と旅費・日当）を間違った例がありました。特に合算された場合は、科目ごと金額が明記された書類の提出にご留意下さい。

12月 試 合 結 果

☆　第 7 回全国ママさんバレーボール冬季大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2017siaikeka/29.12.4mamasan_zenkoku.pdf

☆　2017/18V・チャレンジリーグⅠ男子高森大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2017siaikeka/29.12.3vc1ltakamori.pdf

☆　第 6 回長野県 13 地区協会対抗 6 人制選手権大会（一般・高校の部）
兼ミズノ杯第 17 回 6 人制長野県クラブ選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2017siaikeka/29.12.3_13tiku_ipan.pdf

☆　天皇杯・皇后杯全日本選手権大会ファイナルラウンド
https://www.jva.or.jp/index.php/results/final_tournament/331
https://www.jva.or.jp/index.php/results/final_tournament/332

☆　JOC 第 31 回全国都道府県対抗中学バレーボール大会
http://nagano-va.or.jp/GAMEschedule/2017siaikeka/29.12.25joc.pdf

1月 スケジュール

1. 1/4（木）～ 8（月・祝）	第 70 回全日本バレーボール高等学校選手権大会	（東京都）
2. 1/8（月・祝）	2018 年度 新 MRS 登録及び登録料説明会	（富山県）
3. 1/19（金）	信濃毎日新聞社 新春賀詞交歓会	（松本市）
4. 1/20（土）～21（日）	2017/18 V・チャレンジリーグⅠ男子伊那大会	（伊那市）
5. 1/20（土）～22（月）	長野県高等学校新人体育大会バレーボール競技会	（岡谷市）
6. 1/22（月）	長野県体育協会 第 3 回総務専門委員会	（長野市）
7. 1/27（土）～28（日）	エプソン杯第 33 回長野県中学校選抜優勝大会	（伊那市）

いつも NVA ニュースをご覧いただきありがとうございます
皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします
本年も宜しくお願いいたします

NVA ニュース編集委員会
竹淵光雄、内山政則、木下久資、白鳥さゆり